

北海道静内農業高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) アグリマイスター顕彰制度を推奨し、農業教育の質の向上を図る。 (2) 教科内プロジェクト学習を取り入れ、プロジェクト学習法の確実な定着とプレゼンテーション能力の向上を図る。	(1) ゴールドに2名、シルバーに14名の生徒を合格させることができた。 (2) 1科目1研究を実施しポスターセッションによる発表を実施できた。	(1) 選奨生徒の増加につながるよう指導方法の改善と充実を図る必要がある。 (2) 次年度も継続するとともに、個別の研究活動にも取り組ませる必要がある。	5
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) ASIAGAP認証を受けた生産管理工程の学習を継続し、グローバルな視点から農業生産を分析する能力を高める。 (2) 海外の学校や生徒との交流を実現し、世界の中での日本や北海道について生徒が考える機会を創出する。	(1) 関係機関の指導を受け認証を継続できた。 (2) アメリカからの留学生を受け入れ、グローバルな視点で農業を考える機会を創出できた。	(1) 認証を継続するとともに工程管理の学習の充実を図る必要がある。 (2) 外国語科との連携充実を図る必要がある。	5
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) マイスター・ハイスクール事業をとおして高度な専門性や実践力を養う学習を推進する。 (2) 環境に優しい持続可能な農業技術について実証的な取組を行う。	(1) 関係諸団体、企業と連携し3年目の事業を実施できた。 (2) バイオ炭を活用した栽培実証実験を町とJA、普及センターと共同で実施できた。	(1) これまでの関係性と教育内容の維持発展につながるよう取り組みを進める必要がある。 (2) 連携を継続する必要がある。	5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) マイスター・ハイスクール事業をとおして高度な専門性や実践力を養う学習を推進する。 (2) 栽培・飼育・加工・販売・活用の学習をとおして6次産業化に対応した人材を育てる。	(1) 関係諸団体、企業と連携し3年目の事業を実施できた。 (2) 農場内での連携によりフードシステムの学習を推進できた。	(1) これまでの関係性と教育内容の維持発展につながるよう取り組みを進める必要がある。 (2) 消費者に選ばれる農産物及び加工品の生産を一層強化する必要がある。	4
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 本校に隣接する二十間道路桜並木をとおして環境保全について考え、地球環境を守る人材を育てる。 (2) カーボンニュートラルについて生徒が考え取り組む学習をとおして地球環境を守り想像する教育を行う。	(1) 桜並木の清掃ボランティアを実施できた。 (2) バイオ炭を活用した栽培実証実験をとおして環境に優しい農業について学習できた。	(1) 地域資源の概要について更に広く生徒に学習させる必要がある。 (2) バイオ炭の活用方法が広がるよう微生物添加などの試験を検討する必要がある。	5
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 食品科学科において学校設定科目「商品開発Ⅰ」「商品開発Ⅱ」をとおして地域の特産品開発に取り組む。 (2) 農業の各科目において基幹産業、観光資源を活用した学習を展開し、地域の活性化に寄与する人材を育成を図る。	(1) 新ひだか町及び新ひだか町の商工業者と連携した商品開発を実施できた。 (2) プロジェクト学習をとおして地域産業の課題について理解させ、解決に取り組ませることができた。	(1) カリキュラムを精選し、体系的な学習ができるよう改善を図る必要がある。 (2) 地域の生産者とともに課題解決に取り組む組織作りを検討する必要がある。	4
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) ICTを活用した農業生物の栽培、飼育に関する学習に取り組み、成果を地域に発信するよう努める。 (2) パソコンやスマートフォンなどのICTデバイスやオンラインアンケートフォームを授業に活用するよう努める。	(1) 各種デバイスを活用し飼育、栽培のデータ収集を図ることができた。 (2) 授業のアンケートや教材の配布などICTを活用した授業改善に取り組んだ。	(1) 栽培、飼育に関するデータの集約と利用について研究する必要がある。 (2) 事前、事後学習の充実を図るためのデジタルコンテンツを整備する必要がある。	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	胆振東部地震を教訓に防災意識を常に持ち、自助、共助、公助連携し、『命を守る』意識を高める。	近隣の小学校と「一日防災学校」を実施した。 防災学習として非常災害時の心得などについて全校生徒で学ぶことができた。	自然災害のみならず広く、身の回りに存在する危険について非常災害とともに、非常時校生徒で学ぶことができた。 自然災害のみならず広く、身の回りに存在する危険について非常災害とともに、非常時に地域のために率先して行動できる人間性を養う必要がある。	5